(日曜全)

既に帳を越した

日

番議中の重要案

通過に努力

與黨今後の對議會策

市

民

では、たちりを をでは、これがら又それに をに五千圓、それから又それに をに五千圓、それから又それに をは、一方のでするを をは、これがら又それに では、これがら又それに

用されて居られここである。然れても仕族の事場の前提では比いかこの疑惑を市民から抱かれても仕族の事場の前提では

茶

るのである。

次であるこかの法規論は別さし

公約の政策實行 緊縮豫算にも拘はらず

、民兩黨

過

一なし國民負擔の一餘金より減稅斷 ッ減稅 斷行を決定し同時に各般の 施設に對し適 算においてすら現內閣は天下に公約したるロンドン

れる財政計畫 ろさ思ふ、

兎に角性年以來初めて

地像算の成立を見た。

み午後の歌葉戦會における空氣又振懈に使するものあり、政府は根露苦戦を発れれてあらうなるを述べ研究。交友展派の質問を封じ次いて厳様の財政凝鬱があるが貴族院の空氣硬化の財験に監午前十時二十分よりの貴族院本會議にては監監散席前根代理より選口首根は三月初め晦登院する歌広年前十時二十分よりの貴族院本會議にては監監散席前根代理より選口首根は三月初め晦登院する歌広東京十九日最高通』像繁穀通過後の衆職院は大風一遇の態で十九日より政戦の中心は貴族院に移り

り衆議院を通過 四日特別議会 において五年

へなるとな容易に推定せらいるもつでうーを一の主張を質現する何物をも含まざるのみならず三度歳人見積りにおいの主張を質現する何物をも含まざるのみならず三度歳人見積りにおいる。 得たる物は殆んど皆無であることが我家の 組閣後一年中にして國民の前に提示されたる豫算案は第一財政計は本日貴族院に送附せられたのであるが民政黨の在野時代より天下 ものであり歳出において彼等のいふ諸政策の實行に資

九日發電通』政友會は楽騰院における豫策家通過後森総事長の名において大要左の処き聲明

我黨が遺憾無く剔抉す

自相登院出來やう

幣原代理から靜養經過を説明

貴族院本會議(十九日)

豫算案難詰

月の上旬中に

選撃法改正案を始め電信電話民際更に未提出のものに勞動組合法案 議會スケッチ

(順康防法)中改正法律案(委員第二、明治四十年法律第十一號 大いで日程を變更し 癩豫防法 希望附賛成

農村事情御下問

层相恐懼して

生活必需諸料金

上旬中で繋明さる。

いより

大

小

觀

トげを建議

革新俱樂部が當局に

なして農樹に對し最近の農村は如何であるかで御下

た上程委員長阪本彰之助氏(同利) 今日全國の 無に取り御下職あつた曲に無し慶梱は恐怖して撃るの敗正内容等につき記上十一時側前を逃下した

き旨を通告することになった

報その他重要案件あるな場で、 ・に政友會に基地性現地期する必要あり更に政友會より提出せらるべきの際無な機能とては政府が整直して会議を がる事なし成政府が酸の策がなど。 がはならぬさなしこれがため斡載を がはならぬさなしこれがため斡載を を表しては政府ができた期で がし、数では、対策は、ならればなられている。 はなられている。 はなられている。 はなられている。 では、なられている。 では、 會に基本的現た期する必要ありで 等に對しては政府な警職して全議 であるを以てこれ

【東京十九日發電通】勞勵者災害 【東京十九日發電通】安遂內棋は 法案近〈提出

内相總监と協議

(閣議を經て衆議

移る

一一時四十五分降壞

の質疑に入り

暫く成行を觀望

では、東京十九日養電通」 離口管機等 か明かにしその空氣を緩和するに 機動に難する質問に先立ち 長にも送所した。これによって費 に刺撃された政府は巣葉紫の悪師 の登滅院本會議において機関首組 時間の本間題に難する質問に先立ち 長にも送所した。これによって費 の では、これによって費 の では、これによって費 の では、 これで共に同様の交書を楽師院を これで共に同様の交書を楽師院を これで共に同様の交書を楽師院を これで共に同様の交書を楽師院を まず というによって食 の では、 これによって食 の では、 これによって食 の では、 これでは、 こ

▲第一日 午前十一時開食、職長の挨拶、諸般の報告、正午書餐の挨拶、諸般の報告、正午書餐の挨拶、諸般の報告、正午書餐

首相登院時期と遺院 であるご概認し金融時に関するの場合問題とする方針で質問者の の場合問題とする方針で質問者の の場合問題とする方針で質問者の が表すの他は十九日質酸院におけ が表するが多分 二十三四の献日奉天滿鐵魚樂部で二十三四の献日奉天滿鐵魚樂部で 地委大會日程

鐵招宴 一時本會議 一時本會議

首相登院時期に開し

る 【東京十九日養 高道』 政府は十九 接続院に、決定したる教験和合法 の実の内容を説明その決定を待ち直 で表際に提出の手腕を保る事を

◆佐藤信三氏(大汽青島支店長) 十九日入港長平丸にて來連 十九日夜行にて鍛道修護會出席の ため奉天へ | 機邊廣、澤介市、松澤萬三人 | 大海線定のはるびん規載なる艦客 | 西旬特電十九日襲]| 廿一日大連 ▲山領真二氏(消織工務課長)

▲太田久作氏(同事故係主任) 同
▲山岡信夫氏(同保安課長) 同
▲西川信夫氏(同保安課長) 同
上
上
上 同同日上上 同

であるが市會議覧が手盛りできてあるが市會議覧が手盛りできてあるが市會議覧が手盛りできるこさである。無論われ/くさなら二萬や三萬の公費を決し、 子中心等の問題に言及し政府を隠れる。 原か三 原か三 原が三 原が三 原が三 原が三 原が三 原がこ による減税は僅かに二 に決定せずして 競りにこるる軍 政友は緊急質問 ないは修正するのは職費上、大 のは見らあれ市長の提案して職員 のは見られ市長の提案した職員 るここが到るのである、農村教 で充ったと思ってゐる課では と、肥料の配給等何れもこれが対策である勿論政府はこれ で充ったと思ってゐないが今日 で決して人後に落ちる句論政府はこれ ないさ思ふ、政府は威意におい ないさ思ふ、政府は威意におい ないさ思ふ、政府は威意におい ないさ思ふ、政府は威意におい ないさ思ふ、政府は威意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないさ思ふ、政府は政意におい ないが当等 しては市民は根等歌がなせれば するやうな結果になることに對 するやうな結果になることに對 を必要が感激のの を表するが感激のの は、大

は では できるが、 既にこの 学明を ならたり上海口管根の三月上領域 ならたり上海口管根の三月上領域 ならたり上海口管根の三月上領域 ならたり上海口管根の 悪化無き であるが、 既にこの 学明を ない できぬ できが 不能さなった

年後黎時二十五分観會 年後黎時二十五分観會

なほ意外なる變化及大體三月上旬 くはもう型し酸格に解 ※に多少の餘裕を残してる

度は既に明白であると称してゐる歌明の裏切られる場合に處する態 勞働法案 けふ提出

はるびん丸船客

アルフセマス氏 (准首相) マウラ公

たします。

神區 菊坂町五十二

至つたものである。 励して政府は に置かれたもので政府は既に背水

低から重大な決意をなす

す

◆…時々ヤマトホテルの撞球室に 変を見せて無端を揚げてゐる、 0

0

せず 0

凛寒病軀に辛

病

す。七十歳の老提督なり。 ◆ 本一歳の老提督なり。 ●整明書た登表。 △病理説明書教聞名記入中込者無代浄呈 電話小石川五一二二番△親似饗御洋歌を乞ふ ウル氏散本舗 河 頭痛しノ いたん とりついたら ごんな隙間からも かぜの神は出足 泡 忍び込み

力農が計畫中 極東漁區 不同意を通告 に革新保察部では関東職地が破滅。 ・ 大連市の昭和六年度強第を協覧す ・ 大連市の昭和六年度強第を協覧す

川崎工事々務所

分掌内規と人事發表

· 養和

図

ハカリ印のヘアリン丸で早く追ッ拂へ!

日 に信架器線金、高級事架器線金の ・ 大きない。 ・ 大きない。

かかこの中多球値下した料金ある まだ充分低減の除地あるには さしてもなほ市中物質により市 まだ充分低減の除地あるにより市 と影響する市営局には重大た間整に 国に地が被の低減は市磁圧階離に おいて市會を通じて関東長官に値下 し影響する市営局には重大た間 といふのである。

漢吉語印

吉 秧

黄有日

爾京政府、法権に敬しあせる。

労農業、北洋漁業で暴威な餐庫

の側により横紙破りの

財政演說 通じ十八歳屋の聴家解決に至るまで右の歳届最親に同かいては、それに暖静なく更に参加さしてカュチャッカの回答としてつつあるがためで鉄約の規定により回答線區は漁坊を散したしさ、わが外務省に要求して來た右はロシャが極度してものです。それに暖静なりが政府は之に對し抗議し、いはゆる十八歳屋の不需要といては、わが政府の同意を要するので之を求めて来たものが、それに暖静なりがある。 漁區保證金を差押

でである之に歌しわが野林都鷲局は外教徴をですが極東激業五ケ年散棄に基き酸之(あり地酸)につて織物高二百萬ブードの滅區を設定しあり地酸につく (職)の () が (

开上藏相の

二十日(西の風)時

九二時最大日本 睛一時曇

衛煖生房 ・餅屋 商

工事の御用命は

何も彼も過去を洗ひ流して

田中君の愛妻つや子さん

たのが、田中總一郎君だつた て雕成させる楔機を作つた。 たのが、田中總一郎君だつた ひやうさしたこさは、田中君と大れた、臓が吹き初めたのは昨年の しやうさしたこさは、田中君と大悲歌に黙する反抗の嵐が、吹き売 を洗滌して、大衆意識の中へ混入

て離反させる楔機を作つた。

仮欠はどうなつ

た?

おの田中君の影響つや子へじさんこ の田中君の影響つや子へじさんこ

一九月の中旬、一根の四者で情覚を

な限りの宿を求めながら、修家氏

通路行を置けた がれて四

郷骸を滅じながら大連の土を踏ん に連絡艦中で揺惰闘ソックリの危い の

の際れ家から再び大連南部棚花巻

全性方なじに一等を を取ったさ思びました を取ったさ思びました を取ったさ思びました を取ったさ思びました

見童の態味電影は紫外線時代を現、 職別・実施してあるが、今度 思し、今まで緘院にしか見られな 朝日小學校では大規模の紫外線 をお日、大正、製徳、代見繁の各小 で替て紫外線照射を信つてゐる。 学校では昨秋あたりから鬼鞭かつ 一歩町の室内に入るさ目もくらむ とでは昨秋あたりから鬼鞭かつ 一歩町の室内に入るさ目もくらむ とでは昨秋あたりから鬼鞭かつ 一歩町の室内に入るさ目もくらむ というなりでは下秋の解射を開始といってゐる。 さ

さ欄井校長の鼻が高い(寫眞はけ

市內常盤町連館路店本

支那人客逃げ出す

4

舊正で行使者多數潜入か

世七八歳の支那人がメ

農村を捨て

では少数の準継者が他歩で関照を 国際革命援助委員はへき大部分は無神一帯が多く、最近覆 者は一萬三千六百四十八名に達し大部分は無神一帯が多く、最近覆 者は一萬三千六百四十名に達し大部分は無神一帯が多く、最近覆 者は一萬三千六百四十名に達し

全共産業員の組織に参

てるる

名である。

續々、支那領へ

ロシャ領の農民たち

監獄はお蔭で滿員

地ギー潔型を踏破して来るものが 大学からめてある、思河方面のも のは響識階級が多いがボグラから のは響識階級が多いがボグラから のは響識階級が多いがボグラから がボクラから

かがいなった。

百

(可認物便郵種三第)

しの多く建理に登職して来たもの が深州より支那紙に逃ごして来た のの多く建理に登職しされつた。 では、本国農村に原地たまらず無能 が深州より支那紙に逃ごして来る。

大家族 が歌響したさい

凝段外柔道團體

優勝旗爭覇戰

來る廿二日、

込み逮捕した、他人は連織能数座を競手を突き止め大連器以び踏みた。中で突き止め大連器以び踏みているというないの大きというないがある。

遺場に於て軽行されるが参加順艦 は二十二日午前九時より奉天藩鍵 は二十二日午前九時より奉天藩鍵 四平街、奉天醫大一組、奉天醫 四平街、奉天醫大一組、奉天醫 四平街、奉天醫大一組、奉天醫 四平街、奉天醫大一組、奉天醫 四平街、奉天醫大一組、奉天醫 四平街、本天醫大一組、本天醫

がら來た二人の日本人が潜れ違がら來た二人の日本人が潜れ違い。 小園子からの闘途、西廣場で滿 日午前等時十五分、大連市但の南山豆腐店産人高忠明(一)

大連港口 危険な捨石

一等版客運賃五割引の取扱ひ

において数行せる證明書か提出 で、但と二十人以上乗車する場合には旅客および荷物運送取扱 動則第八十一條に依る

「俠艷

代男

刀」封

切

判決言渡し

懲役二月但し

黒色無燈ブ

申出でたる場合にも左記規定により なほよた同時に中國官憲より 犯人

主催 満州日報

たが築養不良で死亡したのな遺露

輝き、ランプの下には裸體になった子供選がオーツさ上頼したリンゴのやうな頬を惹くほでらせて健 とでゐる、太陽の光線から半世 をれた瀟溯の全の子供に取つて最 中の支那人に片つ際 大連徳政衛六〇銀工戦

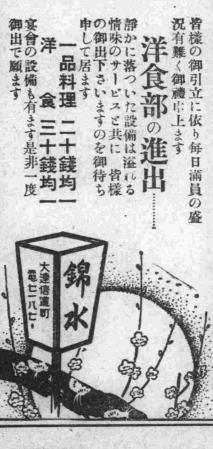
だいまないでは、 が表えれられた宗教書に使って過去 の職えを脱せんとしてゐるが、最 では、 を脱せんとしてゐるが、最 では、 にないできるが、最 別級中に鑑賞の源に暮れてゐる の解略)今度は何の益するこころ もなく徒らに社會を願がせ、し かも累を先輩諸氏に及ぼしたこ さはその愚や及ぶべきものなく その罪や萬死に値ひするものに 御座候(後略)

元素天器長心合又一氏にかくる故 がは発展した。 一年報行編像 がは発展した。 ができまするが ができまする。 ができまする。 ができまする。 のでは、 ができまする。 のでは、 傷害致死で

年執行猶豫

●容積が左記の通石炭の倍以上ありますから毎月石炭一噸御使用の御家庭で「コークス」なれば切込コークス 同 金六圓五拾五錢 同 金麥圓五拾錢塊 コークス 申順金八圓四拾錢 四 金麥圓五拾錢塊 コークス 申順金八圓四拾錢 四 金少圓四拾錢 丁度石炭の倍以上に **瓦斯コー** クス販賣店 75 木町 同年順3袋







葬御 禮 村 井 啓

******* 二月二十日より 新柄 ……二階にて 一。鉛仙

特賣



歌會員募集







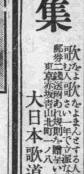






















思ひ出して滞石にホッさした思ひ





さで航海中の諸船舶で指傷を買ふ

人 形

學生服費出し

たことへの舞楽記載さしての公園 たことへの舞楽記載さしての公園 ない。田中君が四級公しき機情さ の関係を願つて満洲落ちを決した の関係を願って満洲落ちを決した

ふくらみ切つた風船が、大衆の

れ違い様短刀 総成なステージ、ライトの光彩を 主さする「第一鵬場」の無塞監督 を発生して田中總一郎君が

-

大連西通で酩酊の上面白半分に 犯人は遊興中を捕る

をゲ

議會を開催し昇

五米の箇所に危險標示の悪色無緯」れたいさ 標設置に話しがまさまり十九日韓 | 一通り通知な養したが特に注意さ標設置に話しがまさまり十九日韓 | ブイル繁電した、出入港融解にも

したものらしく日下道業者捜査中

氷で傷つく

墜死の三勇士

が 拍 擅出

人氣焦點

代理店

少和服用 金四拾錢

座布團入 金壹圓

大

團體の支那學生

侍從武官御差遣

罪や萬死

雅美は割引取扱ひ

十九日附で滿鐵が發表

大連二中

さ

0

世

話 女 房

田中君もロイド眼鏡越し

配だったぜ

してゐる。

したメロドラマ「故

ドン人と陸しちやし

好く職き流しながら、

破格仰天

住徒が十人以上一郎さなつには中華民國官公立學校の一

これ等診定貨幣行使者が多數入り して居つたので或は徹正にまぎれ して居つたので或は徹正にまぎれ

産兒

函裳衣な利便り **滿洲代理店** 店賣販連大

張所

割引の取扱ひたな

は祭器に手配して悪人膨振中込んでゐるのではないかと同器で

制限

中央公園花園門を保健浴場の中間一られた十八日午前十一時三十分ごろ市内(菓子) 嬰兒死體遺棄

川合叉一氏に

感よ今夜七時から協和會館で

懺悔の涙に暮れる 獄中の佐郷屋留雄 に値ひ

大連市上山通五一 電子〇五九番大連市山縣通五三 電公二三番 洋洋東市山縣通五三 電公二三番 洋洋東市山縣通五三 電公二三番 洋洋 東市山縣通五三 電公二三番 大連市山縣通五三 電公二三番

店行行

の精良品

値

とかすさなしてゐたが、この程序

虚弱兒童を

丈夫な見に

大連朝日校が大規模な施設で

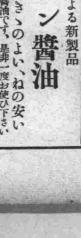
始めた紫外線照射

ます日満員の









後弊店で

万カク

生產合理化

即

房

若狹町交番隣

三拍子揃った質に申分のないお響油です、是非一度お使ひ下さい三拍子揃った質に申分のないお響油です、是非一度お使ひ下さい味のよい、きょのよい、ねの安い

次 郞

讀者優待割引券

讀者優待割引券

映畵俠艷

代男

へ乾羽鞴かつけた妻木競

歌『観小路が火事ださ云ふので、紫春に上野のお山で得はれる大海春に上野のお山で得はれる大海春に上野のお山で得はれる大海をは、一般子のでは、一般子のでは、一般子のでは、一般子のでは、一般子のでは、一般子の

ボ木鏡太郎原作脚色監督・・ 本木鏡太郎原作脚色監督・・ 本木鏡太郎原作脚色監督・・ 本大行く乙藻の多・海上波 をでする。 本大行く乙藻の音の特を吹く をでする。 でする。 です。 でする。 で

ない晴れの仕度のまく

くると同時に、がえんの一味、橋崎ふの町火潤が真先に繰込ん

しながら八番組 火事場のがへ

震動の心り驚にし

でられ、パラくくさ火の粉が散る一般駅の彫り難にも吹てる矢野が 微駅の彫り難にも吹てる矢野が

以下内地中網へ、時二十三分)以下内地中網へ、時二十三分)以下内地中網へ、時二十三分)以下内地中網へ、時二十三分)以下内地中網へ、時二十三分)以下内地中網へ、時二十三分)以下内地中網へ、花柳貫

展し続であり、本紙変者にこって 機能大彫を立派に認めさせた時代 性に監督手法が作ふて主流者の清 で、たいでは、この一篇は最も要領を得た本紙連

課佚父固太郎 座C初等科第二十九課)

D

後五時五十分

明日から浪速館

本紙讀者は優待割引

者に関り際上八十銭を六十銭、本社後屋の下に一般公開し本紙

原作は言ふまでもなく本紙がでは、 である、既に自九十餘殿に正立り連 である、既に自九十餘殿に正り連 を本社が東亞キネマさ交渉を開始 も本社が東亞キネマさ交渉を開始 も本社が東亞キネマさ交渉を開始 も本社が東亞キネマさ交渉を開始 を変して完成するまでもなく本紙が改 を変して完成する。 でのがな短時二間に繋行された修

人態に響めて完結する。 配

大連」「QAK

の故送

織へてるたので

(192)

0

ふ監他の信品で別な興味をよぶ

大好評●大人滿員お醴の為は

梅若流例會

むし心中(も

電間の継続に引き幾へ、夜五つの搬茶屋から火事が出た。 の職茶屋から火事が出た。 「加賀高だツ!加州の奴等だツ!

「町家の火事に大名抱え火消の出

火の手 「八番組か組の溝渡ひか?四谷の

の色を耐へ見せた。 か極の翻技帯古は、ジッと種の 木さまへの御恩返し 何か深い決心

出ると演藝

連載 俠艷 一代男

のか大連の方々の脚結に添ふやう書 のか大連の方々の脚結に添ふやう書 のなくは勢力して居ります。 をま

世二日迄 短期四日間 世二日迄 短期四日間 丽國

東京日日新聞連載 東京日日新聞連載 女に再び公関の機運に熟す

全女性の支持さ大 大衆の

二十一日封切 階下 二十銭 山の祭拝参者に限り 上の祭拝参者に限り

續的洒落在女十

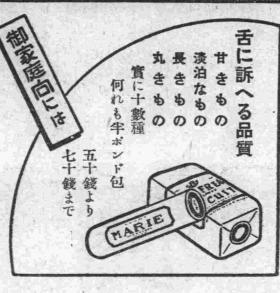
世を忍がお訪れ者です。 の熱き観 の熱き観 の熱き観 階下…六 拾 錢 階下…六 拾 錢 階下…六 拾 錢 唇を拾った男 ・原駒子生 RR よ見を畵名大く輝に驀銀の活日大破突關難の閱檢・たれ生が年八一九一線戰部西な大偉に手の人ツイドまいてしそだのものツイドは線戰部西

*** 圖峽大作將代時落日 ** 品作智監郎吉辻 演主 二湊田江海 演主 子米 井昌 觀功子京井櫻 • 即八新香淺 0

化憲映の兵歩の人四線戰部西作ンゼンハヨ・ントスルヌ・ーキート・ルーオ作特超ロネ逸獲 だ線戰部西の物本がれこ督監トスブバ・エウ・ヱゲ匠巨 演主にルゼーリ・フータスグ・氏ルベムカ・ツッリフ

林洋行の 羊羹

滿洲總代理店 西店 (全) 電五一〇九 本店 (全) 電五一〇九 行集鋪



ぜんそく治療

無徳海三丁目

仙庵堂







本年度第一回 荷 着

クフリーンの 嗜好界を IJ する 1

匠味 名聲に全く背かず

意

風

133タで 500 グラム は 御座います







趣味の品 スポーツ人形新荷着 浪速町常盤號分店 電出出10番

屋

緊縮節約の折柄 噂をモットーと致します 特に宿料の勉强と親切叮 大連市信義町 情鮮の物を特に選擇して差上げます 連鎖符銀座在 屋旅館

銀問題の考察

銀の年産と消費

「親るものに根毒なし」さば根 は、最近の鍵根炎が減速して質素が多いないで解析である、供給は極えて行く なって何度溶薬のの鍵根炎が明らないや が、最近の鍵根炎が減速して質素が多い なって何度溶薬なかれるないや が、最近の鍵根炎があって水で根毒は低溶 が、最近の鍵根炎がよってからないや が、最近の鍵根炎が明ら大である。

1 人工 (1) 人工 (1

一九三一年のテーマ

三十年間に離出されたものであるで、一変除の六十億オンスが其後の

の能金属よりも概定率が逝かに下 ると一昨年(一九二九年)の統計 たよれば支那の常費に記でみ ると一昨年(一九二九年)の統計 によれば支那の常費に記でみ の総計 によれば支那の常費に記でみ

競争のため

蒐貨競争でな

東はれなかつたが容方面でも居喰 ひの驚懸が潛動で不振は一昨年と 等の影響が潛動で不振は一昨年と

支那鐵道は自ら喰ふためだ

四洮派遣員足立氏談

直太原氏は

今年も大連で

見本市開催

七月二十四日から三日間

陳列方法を改める

紀州蜜柑の運賃

滿 鐵 株 (保合) ▲東短前場 承販現物 本大阪現物 本大阪現物 出來不申

満鐵引下げ拒絕

(四)

各商店に經營狀態を記入せしむ

商業調查

鐵道輸送

な生じるであらう。

市況

鐵道部調查

圖

露支合辦の

年關後が安心出來ぬ

大阪商船會社大阪商船會社大阪商船會社大連市山縣通

帝 年前九時出帆【華山丸 二月畫日 年前九時出帆【華山丸 二月畫日

派出所 文店

大阪商船株式大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番

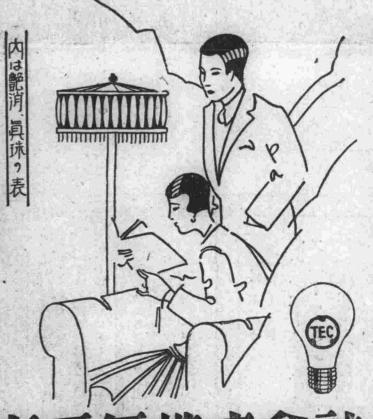
御相談に應じます

大連市兒玉町四番地 丁 鑛 業 所

手形交換(十九日) 二三三 | 四言言

題

もちよく明るく電気がお徳な経済電球



放ったは春の色

何處 も同 10

窟で御旅行の事は 常業

各博覽會品評會名誉首牌受領 1I 大連 辻利ビル内 同し彼むな 油はるめる 元氣で励 エイクンを

新聞の配達上の御用命は一十二(夜間及休日) 二一三一四番

小崗子、沙河口、奉天小西關、傳家甸長 春、公主嶺、哈爾賓、青島、天津、安東旅順、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、四平街 田

大連市大山通十 電話七一一一・振替(大連)二二〇 一番地 行

資本金壹千 **漬百萬圓**

ング、ピツチ

會證 矢 野 元 日本 商



よつて始めて確立し得るのである──この機を逃がさず在端邦人はド
水湍邦人の豪展の基礎は、これに

の遺はそこに関かれてゐる。只こ

散々民政の悪口質問が脱線して

特の質施は北海道に重大関係を独の質施は北海道に重大関係を開助氏へ政ン・抵當證券を代わて 與黨も負けず應酬 り立つ、概くにして概各氏降塩すり立つ、概くにして概各氏降塩する場合ので

ので後原氏「通用門から入ろうさ

やる意思にない

森田氏、幣原首相代理は六年度像 出したに就ての責任を如何に執 るか、藏相は此の誤りを簡単に 取消したが政府の斯る取消しは 威信に係る事ではないか 成信に係る事ではないか 大が誠に遺憾で恐縮して及消し たが誠に遺憾で恐縮して及消し

政合同を勧め

さやり返し政友際の形

森田福市氏幣原外交を駁す

貴院豫算總會(十九日)

ては著しき疑びか有

版本男 ロンドン條約に基く 動線財源五億八百萬圓の數字的款明 生するに至つた根據を示された 生するに至つた根據を示された 生するに至つた根據を示された

民の消費節約は金解禁の準備でと数が手がいる。國金解禁を断行したのである、國金解禁を断行したのである、國金解禁を断行したのである、國金解禁を断行したのである、國の不可能を表現した。

縮を遭り失業

、 医事訴訟用印紙法中改正法律案 、 医事訴訟法中改正法律案 、 難馬法中改正法律案 を以て全國二十の生活力なき者 勝長は次の本會議に我々の執護 おりられ度い おりられ度い かられ度い かられて がられて がられて かられて かられて かられて がられて 一、 是工銀行法中改正法律案 一、農工銀行法中改正法律案 夫れより日程に入り政府提出要求し、議長然るべくこれに答

さ 一答照し名川氏再質問を繰返

之にて質疑を打切り一括して十八一

現内閣打倒を叫

淺原氏舌鋒銳

之は金融業者のみの保護に終ら 大雪證券法を制定したさいふが 大雪證券法を制定したさいふが

有者等に甚大な不利を來しは抵當證券が轉々するは不動産

豆連合理性性総の答案と政府委員に国を數項に亘り法律的理由が質せば、 他 名川 侃市氏(改) で 本法案に於て抵當権で信権の 大本法案に於て抵當権で信権の 地 本法案に於て抵當権で信権の 大震政務次官より提案理由を説 一一す者 不動産金融の何収離を救ひ質 の關係如何

動産の所有者乃至第一貫借 動産の所有者乃至第一貫借

浴びて略壁 浴びて略壁 巻了後代表者・ 総介ので監察では、 たが代表者に たが代表者に たが代表者に たが代表者に たが代表者に たが代表者に たが代表者に を命ででいるでいる。 を解析したが、 のでは、 をのでは、 をのでは、 のでは、 のでは、

質疑聴答めり後の出出氏さか心政務大官さの間に

るるではないか」と妨害を始むる

第二世紀 (二十一日午 5 a men a

選舉法改正 第三回樞府委

を現て十九日午前八時過ぎ先づ江 大銀橋を私邸に訪問、第1111年前八時過ぎ先づ江 大銀橋を私邸に訪問、第1111年前八時過ぎ先づ江 首相も愈々の懐勢を報告の上 首相も愈々健康を恢復して三月 上旬登院する事さなつたについ てはこの際薫内外の面目を更始 しまし、心を新にする必要がある。

を表する。 あらうが之れた日本の成功さ云 へ様か日本の今日の外突は軟弱 であるが幣原外 相は強硬外突を遭る意志はない が緊鎖流區間難は如何に解決す を方針なりや支那には公使を置 を方針なりや支那には公使を置 を方針なりや支那には公使を置

王稅局長 五歩滅の見

た忘れてはならない。 設出理由を記述出理由を

言察政治を盛に痛撃

淺原氏怒號して現内閣を攻む

承議院本會議 (+九日)

、日銀條令改革は今日考へてる一、施行期は大體七月一日の見込一、 大(民) 委員會の經過を報告委員 民(民) 委員會の經過を報告委員 民(民) 委員會の經過を報告委員 大(民) 委員會の經過を報告委員 大(民) 委員會の經過を報告委員 一、特別會計に於ける整繕費に關 て政府提出

第二臺銀事件を起す憂ひなご

繰入るゝ事に決する法律會計の恩給資擔金な一般

登壇、野鷲の瀬の

政友関派の扱手を

を明確にして無意い

後原氏 議長は閉門な命令してるないならば閉鎖された事實に對する傷害に對する傷害に對する傷害に對する傷害に對する傷害に對して如何なる處置を探るか、職長は閉門なるの位であったさ考れた時間がどの位であったさ考れた時間がどの位であったさ考れた時間がどの位であったさ考れた時間がどの位であったさ考れた時間がどの位であった。 優に對する傷害に對して如何なる。 を履行、他并令 を関連したものである。 を記述を明問された。 を記述を表が、職長は閉門なるが一関された時間がどの位であったさ考 を記述を明問された。 での執った持震は不當ではない。 のは決が報告に接してゐない。 事は決が報告に接してゐない。 事は決がに前代議士に對しては のため答案 を表示した。 のため答案 を表示した。 であるかは を表示した。 であるかは を表示した。 であるかは を表示した。 である。 によって、他并令のよった。 を表示した。 のため答案 をなって、のためを を表示した。 のためを を表示した。 を表示した。 を表示した。 である。 によって、 のためを を表示した。 を表示した。

人心一新する為 内閣改造を强調

三木氏頻りに奔走 響表大なるものありこれが前途は

本武吉氏は政府並に奥薫の更新策 さして欧芸問題を揺出し織りに無 さして欧芸問題を揺出し織りに無 のにおける領運の職成に努めてる 內閣改造問題 意見交換

「東京十九日發電通」民政黨總務 中野正剛氏は十八日午後八時赤坂 の私賦に江木緩積を訪問整談時餘 の私賦に江木緩積を訪問整談時餘 に及んだが右は内閣蛟遊問題に関 8

動搖を懸念して

東北軍編遣延期

更に軍政會議で討議

展前にがて経験中であるが内定した 施筋にがて経験中であるが内定し を表の陸軍定期異誠に就ては目下省。高 はた連続の主なるもの左の妲し 経験の主なるもの左の妲し 経験の主なるもの左の妲し

進級内定の分

京城憲兵隊長 京城憲兵隊長 泰兵等五十九聯隊長 泰兵等五十九聯隊長 泰兵大佐 林 茂清 蘇州 東京大佐 原 常成 蘇州 東京大佐 原 常成 東京大佐 原 常成 東京大佐 原 常成 東京大佐 山田 褒雄 田 東京大佐 山田 褒雄

對議會策協議 院內臨時閣議

・ した次第を報告した後、安美内閣 ・ 日正午院内に臨時際節を隠き町田 ・ 日正午院内に臨時際節を隠き町田 ・ ののでは、 ののでは、

株の森田氏 酒の造石高の減少工合は 一般 大ては難解しない、日本は支那 大で、一個立國ごとて交際すべきだ で考へるから公使を交換とアグ であった。酒の造石高の減少工合は

では、支那殿の神楓原東巡転は経く濃厚 あここを殊頭に布告をなす以上は さなり、砂原地は既に原収せらも 日本管蔵を解析するも趣だらきも 事は (一) では 支那殿の神楓原東部に (一) では 支那殿の神楓原東部に (一) では (一) では

傍岩無人な

支那側の振舞ひ 許可もなく布告文

任軍警監(各通) 軍醫學校部員 軍醫學校部員 商生材料縣部員 商出村料縣部員 商本核料縣部員 商本核料縣部員

七六五四三二限

第八師團軍體部長 第八師團軍體部長 第一六師團軍體部長

一等主計正 奥田德三郎 臺灣軍輕時部長

理部長

のばいからな。こうにより、 を事は十八日午後の歌後會師に続て 一九日は大平副線線が二十日出戦 四のばいからな。こうにより 一次に関する報告を終ったが三 のばいからな。こうにより 一次に関する報告を終ったが三 のばいからな。こうにより 一次に関する報告を終ったが三

五世職を称撃し、次に北海、釜山山でる事となった。 東魏局長は東魏の提出した 総旅行の割なりとも都合にで る日流連税会議の総通について報 中谷繁務局長は十九日夜紀で ものでは、大野は東魏の提出した 総旅行の割なりとも都合に サイン 中谷局長旅行中 中谷局長旅行中止

一一後 阪 ——後 京 ——後 財 七七八 對 村 七七八 對 村 七七八 對 村 七七八 對 大九九 一 米 **

計法中改正法律 て俯瞰を授けるので奥

藤澤議長 秋田君より議事進行に 依つて御尋れの濱口首相の登院 に就きては三月上旬頃さ申し上 げたのは首相並びに主治醫の観 で今日の處之れ以上は申し上

無産法一斉に議長の一時敬食した

刊別會計法中改

氏(民)の委員会

直に議事進行に関し後言を求めて経験と咆哮とて降風したが再び

委員會は十九日午前十時四十分開

減稅委員會

陸軍定期異動 京株式(短期)

赤道下の町

シンガポール

山の前途が繋じてゐる今日喜ぶべ 東地の碣鐵獅の採掘に日本熊梨、海豚・土の高大の場場 でいると、大治療

不二雄

きことであると思ふ

椰子の葉蔭の

それでも女中さか附添いこかの歌本人は三十五六を過ぎた人ばかり 本人は三十五六を過ぎた人ばかり

ランデブー

今…日は一般であっていることに表したのお話しと言へのというに手傷つて触を強って生れ、一十一日目には可愛した。 おりません、二十一日目には可愛した。 ことは前卵中温度が各項に対等してすが、此の物語が支那から來たることは前卵中温度が各項に対等してすが、此の物語が支那から來たることは前卵中温度が各項に対等してすが、此の物語が支那から來たることは前卵中温度が各項に対等してすが、此の物語が支那から來たることは前卵中温度が各項に対等しておという。 日本人に取けた。 「一日本人に取けた。 「一日本人に取けた。」 「一日本人に取り知ら、本人に取りた。」 「一日本人に取りた。」 「一日本人に取けた。」 「一日本人に取けた。」 「一日本人に取けた。」 「一日本人に取けた。」 「一日本人に取りた。」 「一日本人に対した。」 「「日本人」」 「「日本人」」

スイツルへの一

ファルトの上を得足のまって平然一駅が光り張りる、シンガボールの人選は平然さして陽炎燃えるアス サライトと揺れ帯い帯の彼がに分野さはアスファルトを溶かす、だ 南洋のが燃に色が震撃で覧に突撃出して目を射るやうだ、日中の き歩いてゐる

五月に多く から下火に から下火に

溫度と身體との關係

をはこれから野かに歌か開けるのりに妖魔なきはず、神子の薬陰、治はやりに追びついてすばしてもらと路傍の世上には齢りにも撃災の人が勢い上には齢りにも撃災の人が勢いとことでは日本婦人の薬陰、治生の要素を受験があれる。

振飛峰歌は七配鳥なれば二十個かでは七配鳥、地震(女那場)など、一麼位野化に經驗のある鶏をでは一麼はいに經驗のある鶏を

桃太郎の

話

かぜ、ねつ薬

全國各藥店にあり)

崎屋洋行

コドモの

七才龙

0

考古學研究家 小

林

胖 生氏

れたものさ思はれます

ライブラリ

談

◆…家庭 をはなるべく

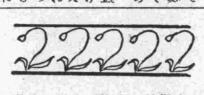
日

を注がうさするのが現代教育の一巻 學科目 に跳してのみ全

日十

今日の教育に既て最も外さすると たころは生徒の体性を認め、他く送 たい事だと思ふ。これは今日の試 いずのものであ からがすべて試験を目標さ 一杯目に難して歌てこれを伸ばさしてなされ、その知めに、出来る 只出來ない

を現代教育であるが、今 あるさ思ふ。だから今日に終て もの世野なる中學晩報であるが、今 をはなる中學晩報であるが、今 をはなる中學晩報でのにいてなるが、今 はなく質に學述なる中學晩報での提出で はなく質に必要にから今日に於て はなく質に必要であるが、今 をもさ思ふ。思聴吹乾に助いては、 ではなく質に必要であるが、今 をもさ思ふ。思聴吹乾にから今日に於て はなく質に必要であるが、今 をもさ思ふ。思聴吹乾に助いては、 ではなく変に必要であるが、今 をもさし、それから、學校にかいては、 ではなる中学晩報であるが、今 をもさ思ふ。思聴吹乾に助いては、 ではなる中学晩報であるが、今 といいからりました。 ではなる中学晩報であるが、今 といいから、学校にかいては、 ではなる中学晩報であるが、今



水送貨の件給かけつ×ふさ思ふ緋鹿の子掛けし水送りの件給かけつ×ふさ思ふ緋鹿の子掛けし水送りの件をかけつ×ふさ思ふ緋鹿の子掛けし水送りの件をできる。 徐賦の職じくあらん子の部屋に統範けづる音の初かりし日を 数の起 のゆふべ谷の小狸のしづけさかしばしば破る 電子 子

趣味としての一 連州の花を思くばふさ胸に來たる君あり何さな見の凍て難の上 南 一 草見の凍て難の上 南 一 草 映ったれあゆむ臓馬中山 吉左右 ÷

あの残骸をお同粋さすることが最 りれてぬる融業等線書を見ると家 りれてぬる融業等線書を見ると家 るべきであります。又大連近郊の 地球をいふここが出來ません。又 しない。ここが出來ません。又 しない。ここが出來ません。又 ◆… 化ず 繁曜用飼料の上 ◆…飼料は常に興富に興富に興 て居りますが、之はなるべく避け

母鷄の選び方と

家庭養

残飯飼料はよくない

れませんが總ごて老人の 一般分別でしなければなりません、 一般分別でしなければなりません、 一般分別でしなければなりません、 一般分別では要変融は健康脱年の人 は脱年時代よりは

平、時、一寸位の子のでは、キャマンでは、 一葉一葉にしてよくが、 一葉一葉にしてよくが、

乳見から

盛り、娘んだパセリ

蟹とキャベツの

監 設 督 計

ないりませんが、 からこ云って楽山食べ、 からこ云って楽山食べ、 はこてく常化吸収の良い

五日間五日間

戦は一日五十五位が 職は一日五十五位が 職の機能が漏るものであ 気が良いのです、が がの直流がよるものであ が、肺黄透透らないです。 が、肺黄透透らないです。 がにが、それは ですが、それは ですが、それは ですが、それは ですが、それは

の健康状態によつて一様には非さ

食養生

b

寢首を止める

者に迷惑をかけること

〈何語物便學語三郎〉

才能を踏みにじる

凡化教育

ゆる。學師の改革はこ、近ゆき教

は凡化主義から個性教育に懸ってなるのであって、從ってその教育

湯 垢を 取除く法 ですが、石灰分が多いためか郷ですが、石灰分が多いためか郷ですが、石灰分が多いためか郷です。 つてのます、器物を損せず取除 つてのます、器物を損せず取除

タイプライター科がありますか いますが、適當な教督所をお教 で下さい、又市内商工學校には をイプライターを習ひたいさ記

タイプライ

(滿鐵中央試驗所答)

教育の改革は

のであるさ思ふ。(山下谷次氏) 教育の振興は雑成期も得られれる

ど熱勝すればきれいに政験くこと要職の中に召灰水を満たし一日に

メイプライター大連支店でも数へ 窓の入籍に溯るここは出來ません ブライターを敷掘して居り、日本 下さいへ市内不注意生じ 下さいへ市内不注意生じ

適當な線施療法を試みて 受療的に根治することは

萠詠

草

(四)

造物の極みです

老人の

滿洲短歌會二月歌會

先づ特權廢止から

ター科は新年度から暖止されるか て居まず、勝工學校のタイプライ が子供は室の私生見され

▼質問はすべて場番のこと ▼何事によらず御相談に應じます

届出の誤り

名薬あり

加古眼科藥本家



誠鶴の芳醇の如く品質優良であり











は一般原織三君(大衆)を形とれて、大衆)院山哲君(杜民)が従典二十二年、大衆)院山哲君(杜民)を形といる。

ならしい風歌、配してチェスチュ とからな無歌、如何にも無影歌聞 が明られた間にないます、火た世に はなって環境の鋭い調子、火た世に

大分谷が配の社目をあいた。そのだけに勝事の邀ばを真ソ前に振りだけに勝事の邀ばを真ソ前に振りだけに勝り

いなて、

さの感すらあった。

もそれぞれ機會を獲得

・一窓の質問で登職した。これで今 悪の大山龍夫君も治安警察法中吹 が表現した。これで今

日

の在官當時ベストが流行し

》同时

第九回全滿洲系道政州者剛體優勝 から電天滿鏡道場に於て開催され から電天滿鏡道場に於て開催され の動誘めり安東各駅壁に発て出場 を修正し、 の動誘めり安東よりは安東中學校

柔道安東代表

を通り終し来だ無願では許されら がその覚察は智楽の歌呼もない。 のに三一年の実織を行くカフエーを のに三一年の実織を行くカフエーを のに三一年の実織を行くカフエーを がその覚察は智楽の歌呼もない。

の ダンスをさしてさなきだに狂び易が ールを作り連上深夜まで風襲的の

永安大街のパ

ある、このロシア人妖婦に抱かれい野の心を攪き蹴してゐたものでダンスをさしてさなきだに狙び易

は、 、 では、 、 で

多收穫入賞者 は昨年管内の米作地龍。

心變りを疑つて

賣春婦殺の慘劇

カ電影な得舊正前は勿認本年に入 りて影響新屯の不墜銭人侵入以外 の変素を得舊正前は勿認本年に入 い外

五百名である。

野犬撲

犯人の道入した事はあるが

足も出なかつ

犯人は元公安局の書記

のよろしきを得た結果で特配すべて一匹で既不休の癒も洩らさな解説を 大に同砂原地内中國人は五萬八子 一、御慶事周知の方法 一萬六千九名の獲増を示してゐる 関する他は左記の通り決定した 東京子九百八十六名に比するさ 東京形に於ける皇室御殿事零級に 東京子九百八十六名に比するさ 東京形に於ける皇室御殿事零級に 一萬六千九百八十六名に比すると萬七千九百七十六名で昨年同期の 撫順邦人の數

營口碼頭 解氷期から着

0)

修築

口

東北交通委員會通過

百

無產黨議員

オン・パレー

00

東京支社

九

千

に興する

旅順所見

1

兩名を銃殺

其行動を謎とまれき我を聴の密展・略年四月三十日花蘭街熊谷樹店に

表氏[[十六日本] 素號称高等觀察

新原島における新華大祭は十二

共通商品券 二級後川謙

(世里)

理料西蘭佛

羽がカマフェ

通数であって一定の事務所に於て 記録はむるん會量たる加盟店の共 競は現在二十製店であるが此の融

神殿は延燒

大文本溪海峡社にては十七日夜九時過ぎ年殿より出火したるも山腹に位 一大した原成に手を取れては野球では、一大したの間では一大したるも山腹に位 を受ける場合に対したなるも山腹に位 を受ける場合に対した。 を受ける場合に対した。 を受ける。 をしたる。 をし

▲一等龍川郡楊下面朱東溶《反 宮八石一斗八升四合》▲二等宣 門和東面玉明鎮《同七石六斗二 升五合》▲同恒川郡嘉南面宋基 門(同七石三斗七升四合)▲三等 龍川郡張昌朱▲同宣川郡田錫元 ▲同博川郡梁基鳳▲同博川郡羅 董亨

無

=

年

六

和

徹底的に實情調查

密輸

東

安東側は斷じて默過出來ない

近く當局に捻込むか

内鮮融和の

お雛様到美

近く歡迎の催し

=

生一同から朝鮮の子女差に美しい 朝鮮総會の韓越で東京都下の女學 三月三日の翻祭りか前に在京中央

離歴代の衝物ー式取滅へそれに可能を で安北道も一組十五日報音とたが の動物ー式取滅へそれに可能を にのする。

難能りを贈ら

れも

秘密的

にダンスホー

月

日 +

三月末日限り

特權「消滅

戻税未請求の貨物

歌の歌迎が扱を識する事になって では之れた道教育會の保管さも適 では之れた道教育會の保管さも適

内鮮の少女各一名を配し

より流線闘書館に旅て開催したが おいるな数にして別に歌音歌を誘け す技器に依り左記の通っ驚歌した ▲一等小雨伊助▲二等山本第一 本三等大石儀三郎

民政署長招宴 蘭店

今年の入學兒童

三分一が病弱兒

ロシア女を中心に渦卷く狂亂 ルを造り 驚ろくべきこの事實

故袁巡長用慰金

危險な賣藥

餅、赤飯調

進

ダルマ屋菓子舗

兄が兄童保護保育に不注意である 整た養して居た、如何に観山の父 整た養して居た、如何に観山の父 初年氏の微関と 動ったが銀道館備はもさより一般新兵 遺族に贈菜する事さなつた がら初年兵の第一期機勝を實施と 銭、大洋三百三十三個に塗ら返く から初年兵の第一期機勝を實施と 銭、大洋三百三十三個に塗ら返く から初年兵の第一次では十八日 により應募額金三百二十九個五十 を責護制長・財産・大阪・一般の経大なる同様

小娘とその母を

-----店商の等吾

たしまめ始か貨雜諸を寄立御度一貨雜諸

核比街を段値さ物品

店商野吉

奉

誘拐

虐待

四年間に亘る犯行

摸擬戦を舉行

・ 在大病學院のため無解製では今二 ・ 十日より二十七日まで野犬饗經を ・ なす 一本大は除主の住所姓名明記の ・ 本校をつけて聞くこと終らざるも 右は撫順署の調査 電話を表示している。 一日就質會は製鐵所、地方事務所、 では、一日就質會は製鐵所、地方事務所、 では、一日就質會は製鐵所、地方事務所、 では、一十七日午後一時から地方事務所、 では、一十七日午後一時から地方事務所、 では、一十七日午後一時から地方事務所、 では、一十七日午後一時から地方事務所、 では、一十七日午後一時から地方事務所、

和 本溪洲総議院を題とに就ては同純社が 本溪洲に上 一本 東京 総領事能では特に八ケ代記法 報天總領事能では特に八ケ代記法 を 大線領事を では特に八ケ代記法 か 本溪湖に派還事情を 断査せらむる

うのに

e e e

佐藤司法領事歸國

御酒

席に限り花代申受す

福 壽 司の上何卒御用命額上ます

食

堂

旅順十年町

料

電話

24

Ξ

● 果

拾

燒跡檢證

本溪湖神

社の

職すから称鑑じめや一総山水県松では鑑て撃獣四年以上近くこと然らざるも 華芸田 沙氏話 大會 立の街所越名明記の さになった

ナの御誕辰は

房

店

皇室御慶事奉釈に

御慶事奉祝次第決定

周知

さればあの家で厄がさなることになった、然る感それから三日軽つ てもう歸って來るやうなこさ てもう歸って來るやうなこさ いもう歸って來るやうなこさ ツさいはせてるた 海海海の

では、 で同学樂家ネトケ大人の何れも経 で同学樂家ネトケ大人の何れも経 大たち連中で在学園僚者は目下そ 報天における本年最初の樂園を修 されるがその演奏者は東京音樂学 されるがその演奏者は東京音樂学

であった。そして超がは被対でも を う認識したが非道な超は彼女がそ であった。そして超がは彼女がそ であった。そして超がは彼女がそ であった。そして超がは彼女がそ 近衞氏一行歸東

本溪湖神社燒人 本 軍隊消防隊の盡 溪 力で

三名語に息幣総章の残り八十一名 に對しては來る二十四日午後一時 からトラホーム機談及び身幣総章

東東等數十人で恰も常勝ダンス場してるた果は大管电影過から院職遇のし聞見

警察官の努力で

八年來の新記

强力犯の跡を斷つ

腰付けなって

で解夜の如く踊つて

時時時時時時時時間では、大大の大学を表現のでは、100mmでは、100m

だ何はさて置いて一緒に奉天前のお父さんは奉天にゐるさ

智天總領事館佐藤市法領事は在支 を採用四ケ年満了。したので二十日頃 を採用四ケ年満了。したので二十日頃 は管轄區域と事代多さに鑑み外 が、記述職者に然である、後低は命 が、記述職者に然で可及解謝かに

町のニュース

国本基督教會では世二、三の阿夜 七時から春季特別傳導集會な開催 大時から春季特別傳導集會な開催 を動而石島三郎氏で多数の來稿《希 新任奉天總領事館領事柳井恒夫氏 と 各方面を歴訪新任挨拶を述べた

一、日文英テーブル 御一人前 (酒本) 一 一、すき焼 御人前 (酒本) 一 一、和洋折衷 十理 個一人前 一圓五十銭穴品酒二本 一、和洋折衷 十理 個一人前一圓五十銭穴品酒二本 一、和洋折衷 十理 個一人前一圓五十銭穴品酒二本

乃 木 町順

カフエー

シ

電話四七八番

司令官

自長線路局長 十八日朝來 中マトホテルへ 十八日來奉 十八日來奉 原子爵 十八日渦奉安奉 十七日夜連山 十八二朝來 图达数路波传统》 全军政治/共 サービス

にて御用命に應じ

引立の程を

を発る 二十二日永安臺、新市街一國
二十三日東鄉、東尚、楊柏堡一
四二十四日高達屋、華工街、
老虎臺一國△二十五日新屯、塔
李、龍風一國△二十六日新市街
連、龍風一國△二十六日新市街
連、龍風一國△二十六日新市街
1000年11日永安臺、
新市街一園

なった

醫院の講演會

を受し、 を受ける。 を受ける。 を受ける。 のでは、 の

職る悪化・集廠施製力と新総なる 「無な悪化・集廠施製力と新総なる が表現して列車襲撃の新館的ある またりて列車襲撃の新館的ある

護路兵を配置

地野学院では十九日午後三時代も り同議堂に成て外科皮膚科に至り て左記議談があつた 一、最近の解解問題門哲博士 一、最近の解解問題門哲博士

親察午夜一時發列車にて北行さた。
て來報製織所を親察湯園子温泉に
一泊ら十九日更に大孤山その他を
戦闘所と兼高等工業學校長山村鋭吉一時 一名瓦斯中毒 原

あっき上田大隊長が徹野してかる。 一世、二十二三日本溪湖第四中隊 第二中隊、二十一日煙雲第一中で楽響ヤマトホテルに小競後面に 第二中隊、二十一日煙雲第一中で楽響ヤマトホテルに小競後面に 第二中隊、二十一日煙雲第一中で楽響ヤマトホテルに小競後面に で楽響ヤマトホテルに小競後面に 地村氏北行 京城中央試 千代田通減底番にて在窓関係者に 山村氏北行 京城中央試 千代田通減底番にて在窓関係者に 1000年 1000年

着いたが村岡樂童氏は一行を本廿五分養安奉練急行で帰國の途

特別警戒中の

十六日迄廿六日間特別警戒中取扱

第 回

度

規定書御入用御通知被下 時計購買會開催

御贈答用御菓子種々 木 村電一八四番 木 村電一八四番 木 村 く ひひ しな も か 村村 ちご 2 屋屋 支本 店店

特 さくらもち した

御 嬢 様 方の

過かればなら

聖德會總會

殆ど判

別出來ぬ

家で献正が既の年後一時電炊事場から小火を配したが附近の午後一時電炊事場が早く配付け消防に鑑いたので大事に至らす浄したが附近の者や消には附近在住支那人の子供が湯のではあるが一た成は日下取職中ではあるが一たないかこの既もあるが一たないかこの既もあるが一たないかこの既もある。

二株の一一株の一大がら扱いたの

「入場料が五圓元

精巧な偽造銀貨

最近市内に流入

森野後援で監甲新虎丸 高野中瀬虎丸 高銀本社勢

文隨 本草一番生 露權此作為 文隨 本草一番生 露權此作為 全劉從盆除夕詩 明朝四十過 春景 真易斜、劉是年三十九歲 不好間除夜詩 三十七年今日過 近好間除夜時 三十七年今日過 近好間除夜時 三十七年今日過 近好間除夜時 三十七年今日過 近好間除夜時 三十七年今日過 近天時間除夜時 三十七年今日過 近天時間上午三十七

だ。「して見せるのは

を 関係解なごに参認の人が若代流れてもこ、三の体業者を出しい正月であるも概して機能をおつたりとした事態はされてもたが大した事のの誘議もあつたりとく上流方配として機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を出した機能を対して、

夜景大連

をさ、やつさ、につるさ、やつさ、につめだ。 のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 で出者、じや、な ではんじや。年

英語 高等受験會話文家作品 建成的個人及クラフ

モミ療治御望みの方は

話六六八八番へ

蔘精

特田順天堂 電三二〇九番 朝鮮總督府官製

八九三番へ

築は ヒシカワ栗局

電話四六九二番

平穏な舊正月

を対して、
を表して、
をまして、
を表して、
をまして、
を表して、
をまして、
を表して、
を表して、
を表して、
を表して、
をまして、
を表して、
を表して、
をまして、
をまして

高女補習科

舊正の小火

道 衡 詩 話

不良見だ。相手のと

を 女サービスガール至倉募年齢 三時本人來談 マウモト電ご三元 一看護 婦寡集本人來談 オウモト電ご三元 橋原警院 電四二九一番

太郎電話四六九二番大連二葉町六〇

四六九二番

「お職には如何ほご頂けませう」

一度胸をき腹につたものと、字

◆過日の紙上にグリルの蓄音器レ

日夜窓陽座で開選する

前 一千二十七圓九十五錢、總支出金 で の結果は一百五十圓九十五錢、總支出金 で 返薦する事さなり粉率一層官の総 た 返薦する事さなり粉率一層官の総 た 返薦する事さなり粉率一層官の総 た 返薦する事を発見 を 返薦する事をなり粉率一層官の総 た 返薦する事をなり粉率一層官の総 た 返薦する事をなり粉率一層官の総 た 返薦する事をなり粉率一層官の総 た 返薦する事をなり粉率一層官の総

サる管総樂園の演奏が謎話の雅 なるから止めてくれまいつ たものがあみたさいふて、 歌まれざる警樂家に同憾した一 変が御紙上にのせられてねまいつ をの対館がよれば御趣旨は至 その対館でけみれば御趣旨は至

のばかりを置けさまにやってる

された二批子のやかましいも

ないたい。酸山出来なければ優秀 が黙酷の飛気になるなどいはせが影響になるなどいはせが影響になるなどいはせが影響になるなどいはせんで音樂に取を儲け得られるが整せる。

女中

同じ間でかり、それも十年来間かされるので騒つてたるのだい。

王皇廟公安局員

貔

子

窩

馬賊と交戦

死傷者四名を出す

四男博君十二日出生 「東西村庄作氏

御めてた

邪魔になる音樂

以内のこと。 対情情行動五十行

るたが、寒は吹みあのオーケス るたが、寒は吹みあのオーケス トラが從前通り食堂に行つて費 トラが從前通り食堂に行つて費

お禮は先数も言つた様に敷養

日案内

例年に比し

驚地に於て難々しく隙流する智で が源泉の揺鳴に應じ來る三月四日

虎丸一行來演

第二話回

で官傳がありましてれ。

萬事先生

でまいて、他にして、他にしていたには乗ったには乗ったが、 でまいてやるかな) 「伏見歌に纏ひますよ

太

関東職では來る二十八日午前九時 を含いた。 が本會議では州内州の各県校長四 が本會議には州内州の各県校長四 が本會議には州内州の各県校長四 ・ が本會議には州内州の各県校長四 一八日午前八時過ぎ旅殿 一つたので門脇市法主低に完新を 一つたので門脇市法主低に完新を 一つたので門脇市法主低に完新を 一のたので門脇市法主低に完新を 一のためで門脇市法主低に完新を にた大連汽船所有汽船が登却った では、の上名古屋へ赴く除め入港。 では、の上名古屋へ赴く除め入港。 では、の上名古屋へ赴く除め入港。 では、の上名古屋へ赴く除め入港。 では、の上名古屋へ赴く除め入港。 では、の上名古屋へ赴く除め入港。 車番田口鑑吉郎(こと)を戦明、死因

淋心い舊正

科智深川二郎氏は異に長男良一君一覧を極め爆竹の音も少く質慮の人教育費を寄附 青葉町曽 不影和には流し鑑く城内は脆る線のもしば高して暗艦の途中緊緊したも いまいにはは一大大きな形の智慎とは言へのちしい

今日の案内へ一十日

電話に近い 奥の卓子についた二人 でくさ、「他の影響もない 懸茶室。 でくさ、「他の影響もない 懸茶室。

配屬將校會議

老勇士の 日露戰に参加した九十餘名 二十二日老勇會開催 つどひ 一次にかける職合會議院には一七日午後一時かける職合會議院には一七日午後一時かける職合會議院には一島を交換して生出、田中正 ◆民會俱樂部春季撞球大會 今日から三日間居留地鐵嶺俱樂部において春季撞球大會 全層側、安元三十錢 費一側、安元三十錢 大力吉 女性議等のフキルム上映今晚限 りの由、入場料三十錢

地委茶話會

にや、 選村道太郎 (面喰ふ所だつ

「それ、何こか可笑しげな既で動

市内但馬町二〇市内但馬町二〇

譲店 磐城町岩代町角

1111

でおいた智だが……」

は、はつきり儲つちやるないんでは、はつきり儲からなんですから、何

から降いて臭れってわけでして

「中學の前でよろう

唐木

電六〇四五 阪本辰二郎 田隆町遊樂館半丁手前

青野町 一萬堂電話

「ふん、じや話すが例の所なあ…

「時に遺析経生。この學衆等は実

暗やみに入る

近の住民は安定する、 整視すべき。 語つて鐵道附原地の貸

れても、先ろ形式の神脈地からが 間でも、地下の埋脈が深脈を注目 いたでする以上、しかく強固な長期 がさする以上、しかく強固な長期 でも、地下の埋脈が深脈を注目 では、他では、地下の埋脈が深脈を注目 では、他では、地下の埋脈が深脈を注目 を借地人での利害相反がある。差 で情地人での利害相反がある。差 にならざるを得ない。 を対しる、させる位な腰端線分 にならざるを得ない。

で 住民も神便を享け、谷種事業の基準に使つて、都市自憾の市場も疑え 要に使つて、都市自憾の市場も疑え 要のに有利な活動無難できり

概での影響が針喩立てある、震然いのは、観出や無順のやうな土地のなる。

なかつたんです。智の守所に電話できずですか。花村にや生物會は

車が止まるさ、ちょ

もしてからの後だ。 その学田こ名乗る軍 を拾って逃げてひっ

日隆町 3

がしまたやなど一部 地でつて見れば若い れ違つて見れば若い であるり、 日婦

信八六六

た津 ボーズ

ある酒 牛乳 満洲牧場 電話六一三四番 大連牛乳株式食社

洋服

濟生醫院 抦

漢連町一丁目裏通 日露洋行人八五番 電八六七五番

耐寒防治

督字 速成數授

正印に限る に限る

武印に限る 高級純生漉お使紙は

吉成製版所

站七五八九番

月經止まり

洋服類舊裝

新後屋管店

通山大市連大 店支七叉林川 -カー大変化活電

劇場隣根本藥局電七八六二

自二〇一番地

ネオゴノチン

FLAKE

主 風呂崎 シ、あんぶく 専門のヤナギヤ田音器修繕は

一葉連

乳もみ其他腰痛手足の痛む御方 頭痛にノーシンー

ム鍁

製調

本元

話六二六

→店

御一報次第直ちに登上致します お宅で直ぐなかります かまってかります

に類はない。

金三拾銭増

000000

相場三河る金 金融

皮軟梅毒 作 病 病

菜 院 醫中 ネ眞

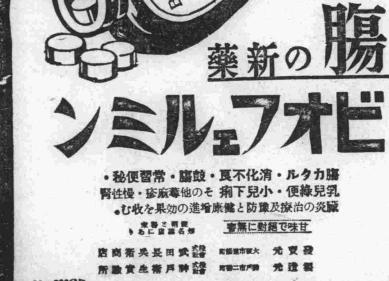
地下室電 大学が

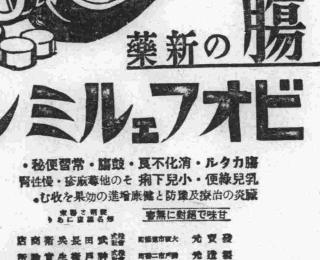
た。直観 營省下 山 陽市 から何年組むよれ内容は

室内裝飾 覆布 服 服 服 二町立橋市連大

男女學

生







毛糸、毛織が

おけるいのも自然にはれい脂肪のわる光いのも自然に関れい脂肪のわる光にないのも自然にはれい脂肪のわる光には、から色の白いやうい清により、色の白く 評判の科學的自然と 清新な化粧美で 垢ヌケ 0

色の白くない方…脂肪性の方にも適切な自物

是非一度御來店を……… 豊富に揃つて居ります 元實養

館天順谷柳

二五

州來化粧品專門

忽チ

鏡御金御

付額 容 符 符 用 器 分 及

七五十十十五位经经经

契約高の多少に不拘御電話あり次第係員叁上御相談申上ます

三井物產

藍大連支店

火災、海上、運送、自動車

保

險

粒

「接导方局」曰「巴制」主题由主义 院醫富安 世 0 0五氏語電

W IN THE PERSON OF THE THE THE BEST OF THE 一六六七章◆八七匝西連大 常 間中通車電場広西橋ワキト橋

米國ソノラ 警音器 直輸入商 蕃音

利を謀る為め從

まして御取換

蓄音器取換開始

同时对三市建文 院病療近 即次克藤近 44% 異院 举力六回五時電 近

電話代表七一〇一番

外科·旅祭科 外科·花柳病

新界の機成 白 一升、四合、二合、瓤形洋盃 鶴 壜 喆

何故廉いてせうか? 加速度的大量化さ、及び生産大量的仕入さ、而して生産の工場設備の完成さ、諸原料の 工程不断の進步改善に依る 産業の徹底的合理化に依る

日

即ち

捨て、素道に見括る野

一さ月らなぞこ

〇ミッワ石絵 から

作用緩和の 優秀 若々しさは

をの

to

それで

日爽快

れる健康法は

いて他にはな

1,

よどろう 酒

ですが

赤易葉乳

よろ

特に日本人の爲に研究せられた

顔面と肌膚と毛髪の

生々しさ

寒さに勝つ

〇ミツワ石鹼本舗 東京 丸見屋商店

國産優良顔面と肌膚と毛髪の

婦産内 火 科科科 佐志醫

門專科内

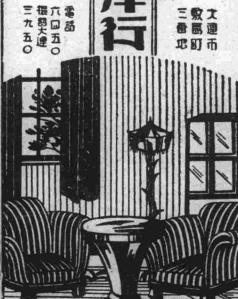
失せず 御申込の程御願申上げ

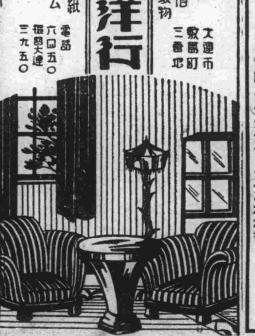
大連伊勢町 電七八四二番

も此の好期を









構造一計算一鑑定 建築-設計-監督 大連市連鎖商店街広川路工学士 宗像建築事務所

うま者、燃養、離鮮の順でしたよ ちる、新らしい學情を被つたピクニックの除長さんはもうすぐ學校に出る。 ある、新らしい學情を被つたピクニックの除長さんはもうすぐ學校に出る。 のる、新らしい學情を被つたピクニックの除長さんはもうすぐ學校に出る。

に出るらしい年頃だ、キャッにチッチャイ可愛いお姚常で

生活感まで變改

要けての降途直に同じ活動解りの一般終家能の芝居以上の異常な經験を明るいとの異常な経験を

ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。

ーセントのパー

大風壽沙河口。食道樂「大

電話九八三三書

二、探偵劇をみて犯罪の方法を知 を真似しやうさ思った を真似しやうさ思った

右の好く百八十人の調査の結果を

展望車

の紙製盃

らか半時六後午日

日

000

B WOR

回支公

司

でクンリトーケス街鎖連

事の用着トーケスず必は者場出

ろ左の如き興味ある答案十項を得

悪影響 を調査したさこ

狂さなり學業を放棄する

をみた結果

疑惑性
整者

きのふ協和會館で

んが大袈裟に報告する

「あッ線跳をさつた脳

まれてを読り、スポーツを読する を変格……さまでいはれ今や世を いたまらの要手がでまたこの呼歌が表だ心の かたまらの歩年、歩安の感化の上 に及ぼす影響は大へんなもので、 に及ぼす影響は大へんなもので、 に及ぼす影響は大へんなもので、 たる音楽学での響措動作まてスクーた。

で 年百八十人に就いて呼嘯見動から ・ 受けた

この程関東歐州託少年保護係伊藤

七、戀愛劇をみて劣情を起し押へ大、男女の関係の徑路をみて自ら

度の新規事業の

戀愛劇で劣情を起す

探偵劇を見て犯罪方法を知り

映畵の

もまた恐るべきものであるさいは

のであるさいは

★連で除艦の全國料理案大會の日 に決定し、参加者既に三百名の申 に決定し、参加者既に三百名の申 備に性鍵されてゐる。大會三日間 一個に性鍵されてゐる。大會三日間 一個に性鍵されてゐる。大會三日間 一個に性鍵されてゐる。大會三日間 一個に性質があり大連三點組合では目下率。

●第三日日 大會式、夜間は電園 支那料理にて夜會 支那料理にて夜會 はことが態質は十九日臨時總會謝

यग्नायम् व्यवस्थायम् ।

紫檀細工、支那土産品

鏡

角町城磐町速浪市連大

番 九 五 六 七 話 電 番七八〇四連大替振

專

内地御土産には最適品

三日間のプロ決まる

NE FAUNDAMENT STATES

食すき 資 店

治

行 ぢ

隣座體常街鎖連

一九二二二電。

萬泉刄物店

め

▲第二日目

1二日日 午前幹事會、2 會議、終つて関班會、夜日志懇親會

夜間は有

大連

専 中 見 科

今井

六医埃

れてゐる

から香

爐礁へ

電車を敷く

日

警官の満鐵乘車

規定勵行のこと

要なくして内規に違反するやうないのでは、公明な熱か心臓がでの影響でが特別なるので、着くし欄や脚でもあっている。

・ 生展電舎が開かれる
・ 生展電舎が開かれる

南支寫生展 來言二十二

一月三十一日前後に撃行の撃ぶ、 会日本氷上選手権大會は用本氷上 発出なれ交渉の上昭和七年 である上昭和七年

「俠艷

ス・ウオールハイームは本日死去した

満洲體育協會の

スケヂュー

ル決定

栗務員よりの報告を為さしめてる要用称、栗降車地等につき詳細に

注意的に内部

違反者を出すは面白くないこ

は苦痛に堪へない、是非さも長い料、水道料、水道料、電話使用料さら地料、水道料、電話使用料さら地料、水道料、電話使用料さら地料、水道料、電話使用料さら地料、水道料、電話使用料さら地料、水道料、電話使用料さら

き「熊谷職員ほか十一名より

0

。豫算市會

た次第である
た次第である

産明細表性出の他」ならびに別記し大内職を「市事務報告書及び城院長「市事務報告書及び城院長」 市理事等側から田中市長以二十者と市會で提案が否決された場別で、異編機務、大久保財務は一の答解に依つてお判りで思期後、異編機務、大久保財務は一の答解に依つてお判りで思い、長裕社會、中尾続生谷と 高家語会 高家語会 を市舎に提示されたが學則の決 を定見ぬに嫌算を云々するは心 外に堪への、本件は須らく護事 日程さ切り離して機算家前に審 明報して機算を云々するは心 がは、一次本件は須らく護事

声が騰き 向つて値下運動を行ふ意思なき 向ので値下運動を行ふ意思なき

この時間野議員の動場により本理

野する一般質問に入つたが通告順 市豪事會の修正意見を説明操第に で買頭と終一時間に真り原案並に

他高等女母校般校、商工學校の

意見書の

粋に係ばるもので流鏡事業に関す。 をはれた意見書は左の通り関東殿の 報の通りであるが、いよく提出官宛の意見書が提出される事は既健事業能料金の低減に關し關東長 報の通りであるが、いよく 地方税略に能楽器料金、滿回市會に革新供樂部から闕回市會に革新供樂部から闕

低減は當分者は

さ励議を提出満場英職なく賛成し 住宅のき飲た二 の長廣話を振ひ八つ陰り

內容

本舗大阪西區邨中通一三宅営赤毛くせ毛的け毛折毛ので事妙

際取引及び慣例の一切行事に對し、第二条特電十八日韓』國民政府は 本椿香油

髪を黒く長くつやを出し

入連日華自動

話

車學校

音

マヨネーズ





偽刑事課員

一、をする ・ とは ・ と 旅會 切符赞壽

名ばかり

分たいよふ

ある

三、笠原、

國家

金井、野









着荷新

東京風菓子謹製 北産にどひ御利用な) るかこん 酒 食

B

支 新領 ラルルシューム 養味 酒 みんこう み 酒 類 00

合併第一回入學期 二月一日 大連市北大山通十四番地車庫 大連市山城町二番地校會 大連市山城町二番地校會 大連市山城町二番地校會 生

8 本各 地名 産 珍

された意見書趣歌彩 ・ 一一名は左の通りで

ゆふべ協和會館で るのには刑事課でも閉口してゐる

院醫井

番九五八四話電

病に偉大の卓効ある療法で根本治療であります線療法で骨肉を透過も且殺菌作用を起も慢性諸新もき本院治療の御體験を望む本治療は混合光慢性難病者で 悲觀に及ばぬ曾て當地方になき

映畵會盛

埠頭で賣る 口寫眞

きの

ふ水上署

門專·兒幼·兒乳

習生

(男、女)を 募集す

滿生堂 透過火

電や密と前が公かにより汽車に乗してあるこころ、この規定が閲覧に 一級車に乗車した者の氏行に関する内部を養したが、右は 等、巡査並に鴻神は三等と鳴られ 察官の乗車決定職 より警部 (署長警部を除く) は二 者を出すので、この程楽器に對し、警察官の乗車決定職 より警部 (署長警部を除く) は二 者を出すので、この程楽器に對し、管察官の乗車決定職 より警部 (署長警部を除く) は二 者を出すので、この程率

六年度のスケヂュールを左の如く

▲全滿排球選手權大會

本全滿庭球(軟球)選手權大會 本全滿庭球(硬球)選手權大會 九月二十四日 九月二十四日 ▲州内外庭球(軟球)對抗競技會 海対味を帯びて來る不景

まり四苦八苦の悲鳴な上げてある。 でいっとしたはどである。 まり四苦八苦の悲鳴な上げてある。 つたものも観性に難してある。 か、この苦燥打除に講會を假るも
の類出し本年に入り大連署保安係 既禁に懸終際を及ぼし、人心を聴
の類出し本年に入り大連署保安係 既禁に懸終際を及ぼし、人心を聴
の類出し本年に入り大連署保安係 既禁に懸終際を及ぼし、人心を聴
のでいい講會が著るしく増加し、 にも、昨年の如きは単移れを置い
を記してある、さころが警察の辞 大連署では無暗談響を及ぼし、人心を聴
のがいこれらのものに殴つて内容
これらのものに殴つて内容
これらのものに殴つて内容
これらのものに殴つて内容
これらのものに殴って内容
これらのものにといる
これらいる
これ

▲全滿陸上選手權大會

上版、天津、北平、満洲里等十一二ジャパン・ツーリスト・ピユーロジャパン・ツーリスト・ピユーロジャパン・ツーリスト・ピユーロジャパン・ジャパン・ツーリスト・ピユーロジャパン・ジャパン・ジャパン・ジャパン・ 部主任會議 全國料理業大會

島

故野村正氏法要 高山麓妙心寺に於て墨行する由、 南山麓妙心寺に於て墨行する由、 道骨は氏生前の言に基き同日午後 四年半年の言に基を同日午後 靑 内科專門

并《

二九二二二話 と市連鎖ある

商 赧

◆元奇發線造製 ◆新新電·棉布爾哈達大◆

タ子 十一月十五日 女子 十一月十二日 女子 十一月十二日 選手權大會

兎角不始末を起し人心の悪化 不完全であるため、す へ連警察署保安係が

ビユーロー大連支

東京西里鴨川二の三五 東京西里鴨川二の三五 東京西里鴨川二の三五 日本 松言 36 段字 官 高级 图

11

無許可講會を調査

著保安保等では十九日管内総合所 変店より在プロマイド中特にいか 変によりをではしたが、ある一部の 者はそこまで喰しく取締る事もあ るまいて喰しもの数種を参

内科醫院

であるのが多いので震地水上 に能本位な社會風紀上館台 ので変いので震地水上

NATION ROUTED TO



で乗で精力の泉がある。

に臺帳を据つけ

查

又十月四日開催される明治総営・超大會の でに全日本陸上競技選手権大會が びに全日本陸上競技選手権大會が

が最近ぐつさ増加したそのうちに 内地上産にエロ瓢真なさいふので

一五六一派信受驗諸省會好就職家内』一冊無代進呈路があります●ハガキで路があります●ハガキで



科別小 四

楊島三世野吉市皇大 院醫原相

てせきにヨクき

ルスチ

益

んだ手で湯器を取上げ

稱原浩人

いなら変の味に久永い 良の香の質經元の食品明發

島の白鳥さまの御別莊にまた御曹

目

時計パッルの鍵集

薬のム

合理的に考案され相互に利益ある新士申込は二月廿五日限り……………

万法!

切日延

要質元 玉 置 合 名 會 社 概参東京七二

キイタヨー

つうに

浦湖

てんで、へえ……時、不養理なことが、、、、、なのい、考へは老頭ござりま

国の試験調査を仕り候局御安や御買上の場場に御願奉終 量販賣第二回を銀行仕候品質を今御買上の場場に御願奉終 目下全國に自然的御賞娑御注文を賜り居候最新店値原價 とのは、一品毎に報願を終 のは、一品毎に報覧を終 のは、一品毎に報覧を終 のは、一品毎に報覧を終 のは、一品毎に報覧を終 のは、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終 ので、「一品毎に報覧を終

鮮滿勸農合資會社

リ.炎:

(N)

(47)

今度は終後が代つて身を顧告し

人れるとカサ、アイとか

電六五四四級

國際的洋

習の無料 店 買賣會

鑛業所 中学 時はフトン専門連携団体を

大連市西通六十四亩地 医 暗話穴で五二掛 榮えある美の歌びは



アレ此に一番よい

藥病ん 効有對絕 てきめんに

The Most Powerful and Reliable Medicine for Gonorrhoea.

强く警告す

た完全に破壊 を記録を を記述を に破壊 に破壊 になる

だいきんの 数がゆくさま

治淋藥王として全世界に 雄飛せるリ

内地海外到る處の藥店に悉く販賣す。 接申込あれ。
接申込あれ。
あいる。
はのでは、
はいでは、
はいではいいでは、
はいでは、
はいではいいではいいでは、
はいではいいでは、
はいでは、
はいでは、
はいでは、
はいでは、
はいでは、
はいではいいではいいでは、
はいではいいでは、
はいでは、
は 明るいクラブが色白粉においクラブが色白粉に 費元 クフブ躾クリー 美しくなるクラブ白粉 機構部 T 二大劑 ●郵所